



森の楽校だより

VOL. 7

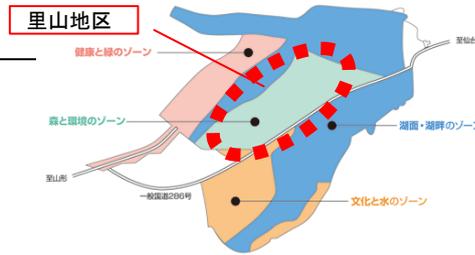


森の楽校とは？

みちのく公園里山地区は、雑木林におおわれた森のエリアです。人と自然のかかわりや、生物多様性について学び体験できる里山として、平成26年に開園を予定しています。

市民が身近な自然に親しみ、里山活動に気軽に参加する機会を設けるため、この度、「みちのく森の楽校」を開催します。「森の楽校」では、森に係るさまざまな活動を楽しみながら、これからの里山と人のかかわりを築いていきます。

今年度は最初の取り組みとして、森の中のコナラの木に、活動の拠点となるツリーハウスを作っています。



11月19日（土）曇り一時雨 支柱に大引きを取り付けました！

先週12日の活動で、ファーストデッキの支柱に筋交いを取り付けて、強度をあげました。今日は、その支柱に大引き（横材）を取り付けました。板挽きもずいぶん進んだので、大引きの上にデッキ用の板材も置いてみました！





山は、紅葉しています。

道具小屋造り

前回に引き続き、道具小屋の製作をしました。
屋根用の板を取り付け、扉用の枠を作りました。道具を置いておけるようになったので、ずいぶん便利になりました。



はしご造り

ファーストデッキを作る場所は、地面が斜めになっているため、高低差がある正面から上がるにははしごが必要です。細い丸太材で、はしごを作りました。



板挽き

大径木を縦挽きにして、板を作っています。この作業は、まだまだ続きます。



休憩スペース

大径木の丸太をベンチにして、薪ストーブを囲んで休憩スペースを作りました。

